

事務連絡  
令和2年2月28日

各都道府県教育委員会  
「GIGAスクール構想の実現」事務担当者 殿

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課長  
高谷浩樹

「GIGAスクール 自治体ピッチ」の開催について（情報提供）

平素より、学校における教育の情報化に関して御尽力いただきまして感謝申し上げます。

現在、令和2年2月20日の事務連絡により、公立学校情報機器整備費補助金の交付申請見込みについて調査をお願いしているところですが、当該端末について、内閣官房IT総合戦略室の主催の下、3月18日と27日に別添のとおり「GIGAスクール自治体ピッチ」を開催することとなりました。

この自治体ピッチは、メーカー等各社からのプレゼンテーションを自治体関係者が視聴し質問を行うことで、調達する端末の具体的選定の一助としていただくことを通じて、共同調達を含め調達をより効果的・効率的に行っていただけることを目的にしております。詳細につきましては、決まり次第ご案内いたします。

各都道府県教育委員会におかれましては、本件について速やかに域内市区町村（政令指定都市を含む）教育委員会に対しても周知くださるようお願いいたします。

なお、本件については、本日、弊省より知事部局（市長部局）へも情報提供させていただきます。

記

<別添>

「GIGAスクール 自治体ピッチ」の開催について

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課

TEL：03-6734-2085（吉澤、田端）

MAIL：jogai@mext.go.jp

# 「GIGAスクール 自治体ピッチ」の開催について

## 概要

- 1人1台端末整備事業における補助対象で構成される基本パッケージと、先進自治体での実績のあるネットワークやアプリケーション等も含めた応用的なパッケージの2種類を各事業者からピッチ（プレゼンテーション）する場を開催。
- 主催：内閣官房 I T 総合戦略室（協力：文部科学省及び業界団体）

### ①ピッチ（プレゼンテーション）当日

- ◆日時：2020年3月18日、27日（11時から16時を予定）
  - ※3部構成で、1部につき3社程度がピッチ（プレゼンテーション）
  - ※1提案者につき20分（10分提案、10分質疑応答）
  - ※各部の終了後に提案者と個別に面談できる時間を設ける。
- ◆場所：調整中（東京都において実施予定）※会場参加は情勢を見て判断
- ◆当日の様子はYouTubeLIVEで生中継

### ②後日視聴

- ◆方法：YouTubeにて当日の録画動画を配信
- ◆質問アプリ（Sli.do）を利用し、参加者からの質問・意見を受付

## 提案者（メーカー等）

児童生徒1人1台端末の整備事業を踏まえた基本パッケージと、先進事例を基に追加要素を加えた応用パッケージの2種類を各社から提案



プレゼンテーション

ピッチの様子はリアルタイム配信

基本パッケージ

応用パッケージ

## 自治体職員



会場参加



オンライン参加



後日動画視聴参加

YouTubeを活用し、現地に行かなくても参加可能  
オンライン参加者もリアルタイムで提案者への質問が可能



提案内容を参考に、都道府県と市区町村が検討を行い共同で調達を実施

教育自治体ピッチ開催

# 基本パッケージと応用パッケージについて

## 概要

○端末メーカーが以下A/Bの観点でパッケージメニューを作成する。

A)基本パッケージ      B)応用パッケージ

○端末メーカーに依頼を行うが、実際には販売事業者等他の事業者と連携してパッケージ検討を実施されると想定されるため、端末メーカー＋販売事業者等のような形で参加するものとする。

## A)基本パッケージ

### 基本パッケージに含む項目

- 提供元（メーカー・販売店名）
- 学習者用コンピュータのスペック（端末のメーカー名・型番・OS・CPU・ストレージ・メモリ・画面サイズ・タッチパネル・通信方式・カメラ機能・各種接続端子・バッテリー・重さ・保守保証・キーボード・端末管理ツール・その他付属品など）
- パッケージの価格
- パッケージの特長
- 連絡先

児童生徒1人1台端末の整備事業において補助対象となる要素のみで構成されたパッケージを「基本パッケージ」とする。基本パッケージの価格が4.5万円に収まれば、（買い取りの場合）自治体の持ち出しはない。

### 基本パッケージに関する留意点

- 補助対象となるのは、学習者用コンピュータ（端末を学習者用コンピュータとして適切に運用するために必須のキーボード、必要最低限の端末管理(MDM)ツール、無料の1～複数年の保証契約（補償等の費用も含む） および、機器の運搬搬入費、機器の設置・据え付け費である（詳細は最新Q&A参照）。
- 上記のうちパッケージの価格に含まれず、別途見積もりが必要なもの（地域によって価格が異なる運搬費など）がある場合は明記する。
- 補助対象外となる「有償のソフトウェア」「有償の保守・保証契約」等は含まない。これらが含まれる場合は、応用パッケージとなる。
- 端末・アカウントの設計/設定作業については、校内通信ネットワークに接続して端末およびアカウントを運用するために必要なものとして、「校内通信ネットワーク整備事業」における「初年度に必要なネットワークの設計・調査費用」に含まれるため、本パッケージには含まれない。
- 文部科学省が提示する標準仕様書はあくまで自治体が仕様書を作成するためのモデル例であり、学習者用コンピュータのスペックは必ずしも標準仕様書に準拠する必要はない。適切な通信ネットワークとパブリッククラウドによるクラウドコンピューティングの活用を基本とし、教育現場での円滑な利活用が可能な端末とする。
- 導入台数等によって単価が変わり価格を付けられない等の事情がある場合には「オープン価格」としてもよいが、自治体を選択しやすくするためにも、極力価格を提示いただく。また、自治体の持ち出しをなくすため、極力4.5万円に収まるよう努力いただく。
- 端末メーカーが中心となって販売事業者・SIer・通信事業者等の各種事業者と連携し、パッケージを作成することで、学校内ICT環境全体を考慮した提案がなされると、自治体にとっても選びやすく、是非推奨したい。

## B) 応用パッケージ

4.5万円の端末補助対象外となる要素も含んだパッケージを「応用パッケージ」とする。補助対象外となる範囲については、パッケージ全体が4.5万円に収まっていたとしても自治体の持ち出しとなる。

### 応用パッケージに関する留意点

- 例えば端末だけでなく、画面転送装置といった周辺機器や、有償の学習用ツール・保守保証、校内LAN工事とのトータル提案など様々なものが考えられるが、先進自治体で実績のあるものが望ましい。
- 導入台数等によって単価が変わり価格を付けられない等の事情がある場合には「オープン価格」としてもよいが、自治体を選択しやすくするためにも、極力価格を提示いただく。
- 端末メーカーが中心となって販売事業者・SIer・通信事業者等の各種事業者と連携し、パッケージを作成することで、学校内ICT環境全体を考慮したトータル提案がなされると、自治体にとっても選びやすく、是非推奨したい。



### 応用パッケージに含まれるものの例

ハード	ケース、ペン、画面保護フィルム、ガラスコーティング、ストラップ、画面転送装置、遠隔授業用のWebカメラ・スピーカー、プログラミング用ロボット教材 等
ソフト	有償の協働学習支援ツール・デジタル教材・デジタル教科書、有償のコンテンツ配信サービス、有償のセキュリティソフト 等
保守運用	有償の保守保証契約（メーカー保守の延長、オンサイト保守、ヘルプデスク、年次更新サービス等）、校内LANを含んだトータルサポート、有償の研修、ICT支援員サービス、事例集の提供等
その他	LTE通信費・通信カード、端末導入～校内LAN構築のトータル提案、運用全体のコンサルティング、利活用調査及び分析の実施等

### 応用パッケージに含む項目

- 提供元（メーカー・販売店名）
- 学習者用コンピュータのスペック（端末のメーカー名・型番・OS・CPU・ストレージ・メモリ・画面サイズ・タッチパネル・通信方式・カメラ機能・各種接続端子・バッテリー・重さ・保守保証・キーボード・端末管理ツール・その他付属品など）
- 上記以外でパッケージに含まれる要素およびそのスペック
- パッケージの価格
- パッケージの特長
- 連絡先